

日本小児麻酔学会第26回大会 動画作成マニュアル

音声付きPowerPointによる動画作成

- ・[共通] 準備物 … P 3
- ・[共通] 講演データの作成について … P 4
- ・[Windows共通] マイクの確認方法 … P 5
- ・[Windows] PowerPoint2019・Office365 … P 5
- ・[Windows] PowerPoint2013・2016 … P12
- ・[Mac] PowerPoint for Mac 2019 … P16

事前準備

1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

- ・Windows : PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office365のいずれか
- ・Mac : PowerPoint for Mac 2019, Office365のどちらか

※PowerPoint for Mac は 2019より前のバージョンは非対応です。

2. マイク(音声入力ができる環境)

内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声(ノイズ)も録音されてしまう為、
ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

事前準備

3. 動画に利用する PowerPoint データをご確認ください

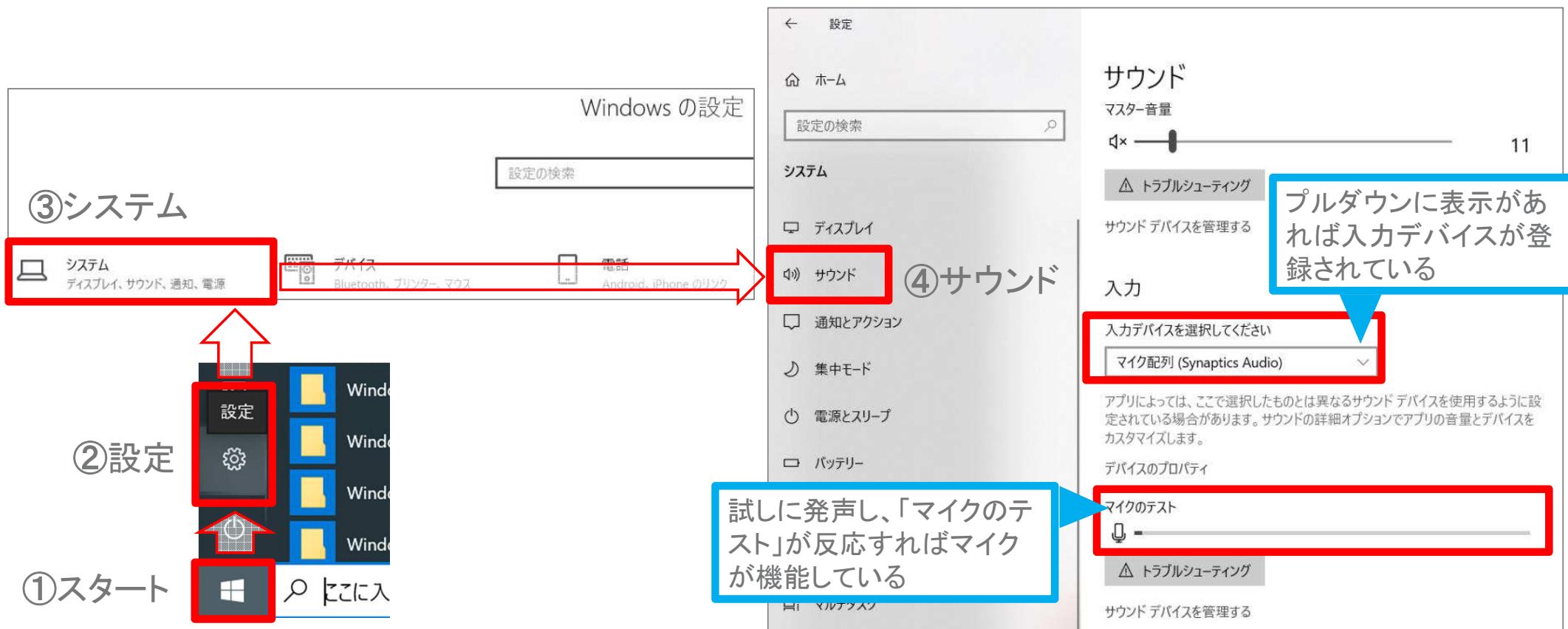
《留意事項》

- ・スライド枚数に制限はございません。
- ・事前にご案内した時間での動画作成にご協力をお願いします。
- ・タイトルスライドの次(2項目)に、必ずCOI開示スライドがあることをご確認ください。
- ・非表示設定を行わない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれます。
動画内で表示を希望しないスライドはすべて「非表示」に設定してください。
- ・ご提出動画はそのまま利用させていただきます。
ご提出前に、必ず演者の先生ご自身でも動画をテスト再生いただき、音声・スライド内動画の再生確認やCOI開示に漏れがないかご確認をお願いいたします。

Windows共通 マイクの確認方法

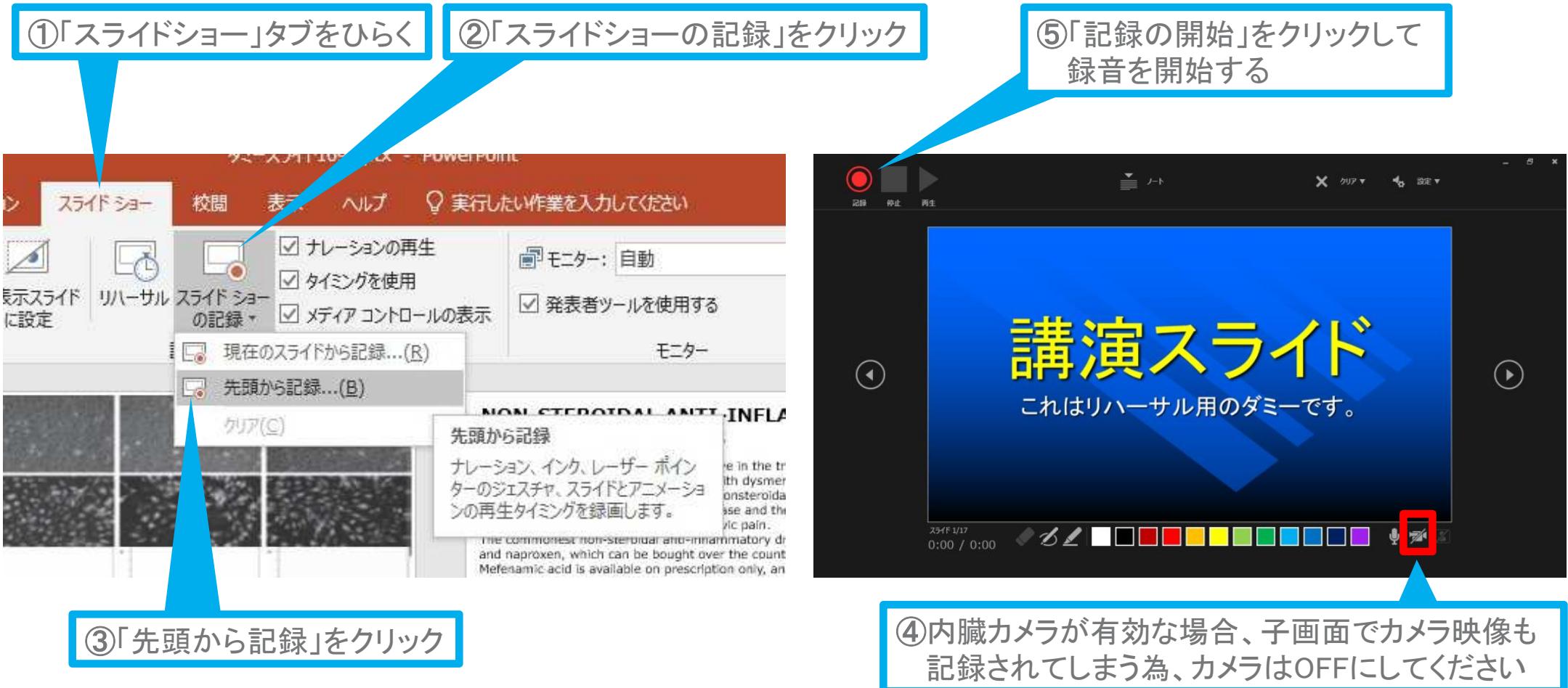
マイクの確認方法

「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認してください。
また、「マイクのテスト」にて試しに発声し、反応することを確認してください。



Windows
PowerPoint2019·Office365

I. 音声・スライド切り替えの記録方法



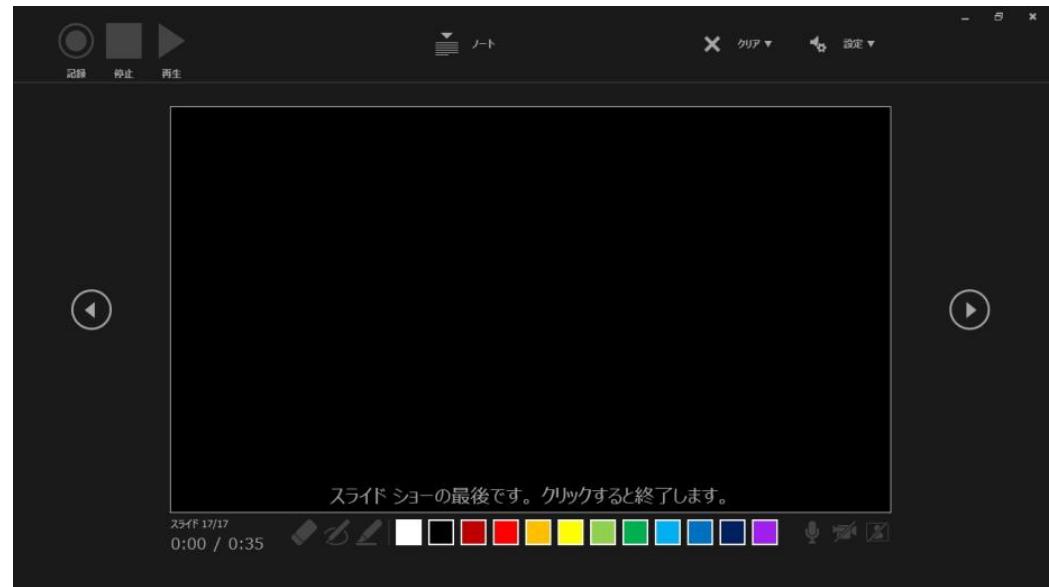
⑥スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声が途切れて
しまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



「記録の停止」をクリックすると
そこまでの記録が残る

「記録の一時停止」をクリックすると
記録が一時停止となる

⑦下記画面まで進めると自動的に録音が停止し
スライドをもう1枚進めると編集画面に戻る



矢印もしくはスライド上をクリックすると
次に進む

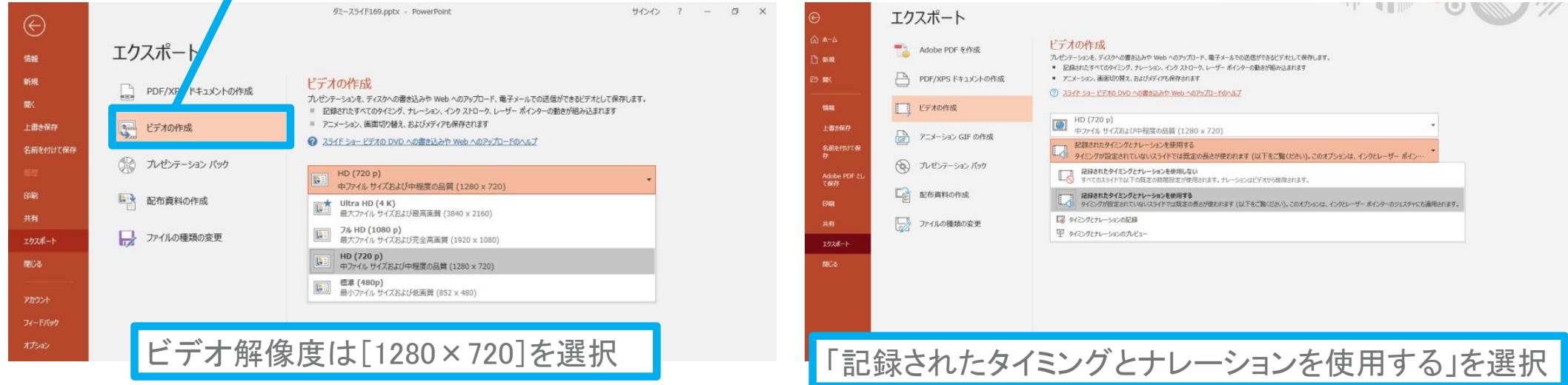


⑧スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認後、PowerPoint を保存した上、一度 ファイルを閉じてください(新しく名前を付けて保存)

再度保存したファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミングに問題がないかご確認ください。問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行ってください。

II. 動画(MP4ファイル)への変換方法

⑨ 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



「ビデオの作成」をクリックすると、「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。
ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択してください。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

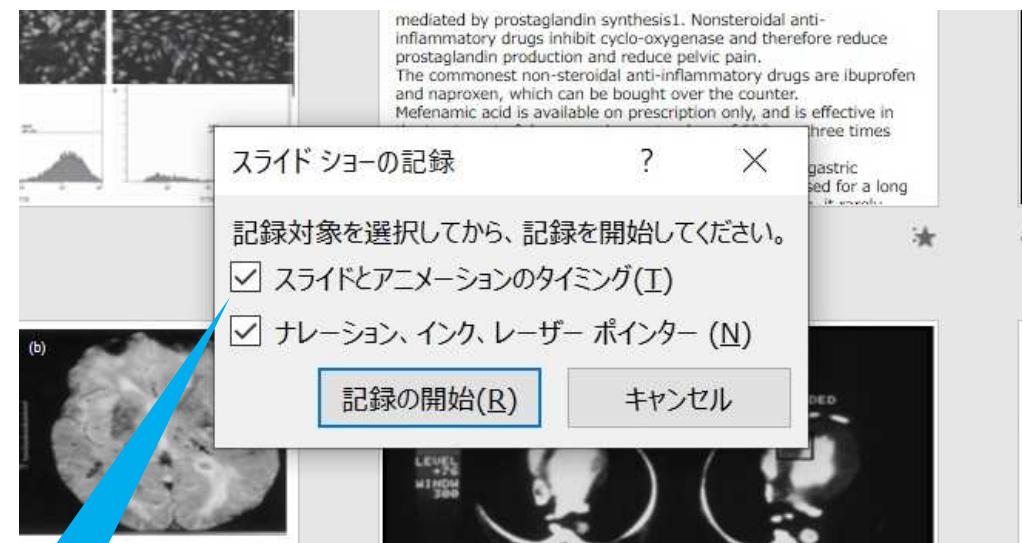
Windows
PowerPoint2013・2016

I. 音声・スライド切り替えの記録方法

①「スライドショー」タブをひらく



②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック

④「スライドとアニメーションのタイミング」、「ナレーション、インク、レーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認し「記録の開始(R)」をクリックして録音を開始する

- ⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声が途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



- ⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPoint を保存した上、データを一度閉じてください。
(新しく名前を付けて保存)

再度、保存したファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等に問題がないかご確認ください。問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行ってください。

II. 動画(MP4ファイル)への変換方法

⑦ 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」を選択



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。

ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。

右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

Mac PowerPoint for Mac 2019

I.マイクの確認方法

[Mac] PowerPoint for Mac 2019

「システム環境設定」→「サウンド」→「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認してください。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応するか確認してください。

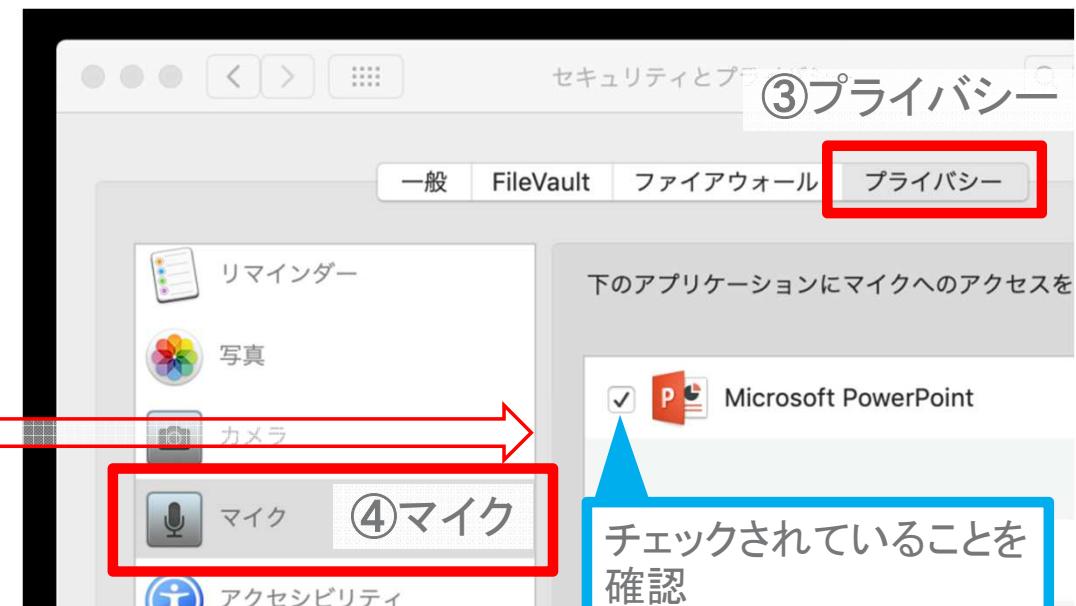


II. PowerPoint のマイク入力の確認

[Mac] PowerPoint for Mac 2019

「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認してください。

①システム環境設定



III. 録音の準備

[Mac] PowerPoint for Mac 2019

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているかご確認ください。
「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が開始されます。

①1枚目が選択されている
状態であることを確認

②カーソルを合わせたときに
「先頭から録音を開始」という
注釈が現れる場合があります

③クリックすると
画面が切り替わ
り、録音が始ま
ります



IV.スライドショーの実施

[Mac] PowerPoint for Mac 2019

通常通り、スライドショーを行ってください。

ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライドを送るタイミングと音声のみです。

タイトルスライド、及びスライドの切り替え時には音声が途切れてしまう場合があります。

次のスライド表示後、一拍おいてから話し始めてください。

また、記録中に前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音が上書きされますのでご注意ください。



メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用をしても、動画には記録されません

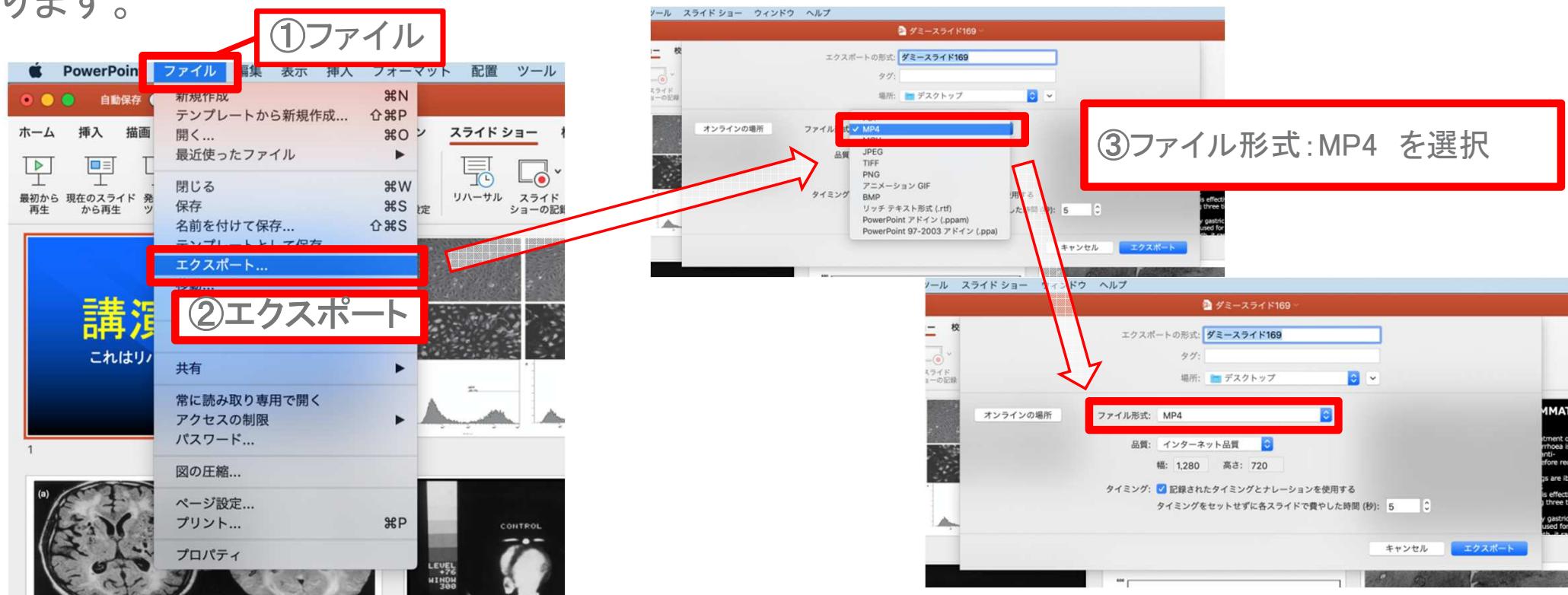
V.スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が表示されます。「はい」をご選択ください。



VI.保存先の選択

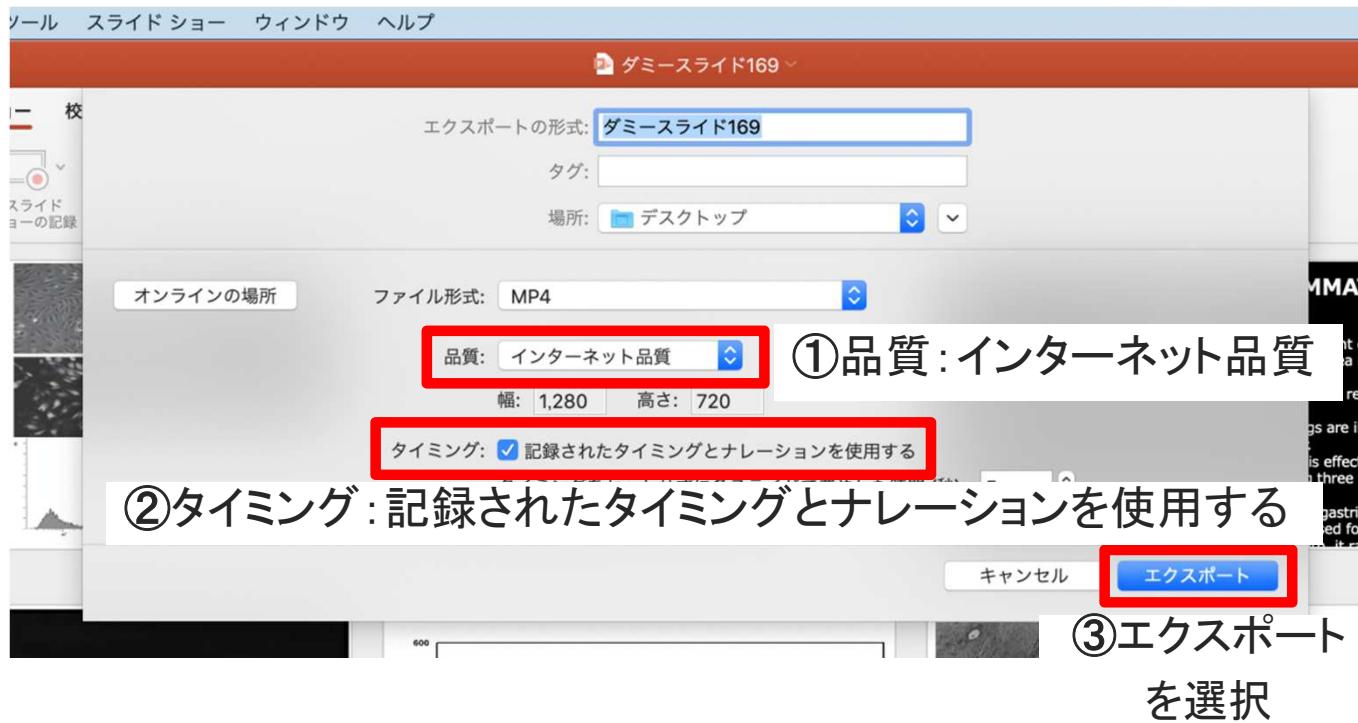
「ファイル」→「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。



VII.品質の選択、動画作成と保存

[Mac] PowerPoint for Mac 2019

品質は「インターネット品質」を選択し「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認してください。
「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示される

20分のスライドショーから
HD画質(1270×720)の
動画を作成するのに
約10分かかります